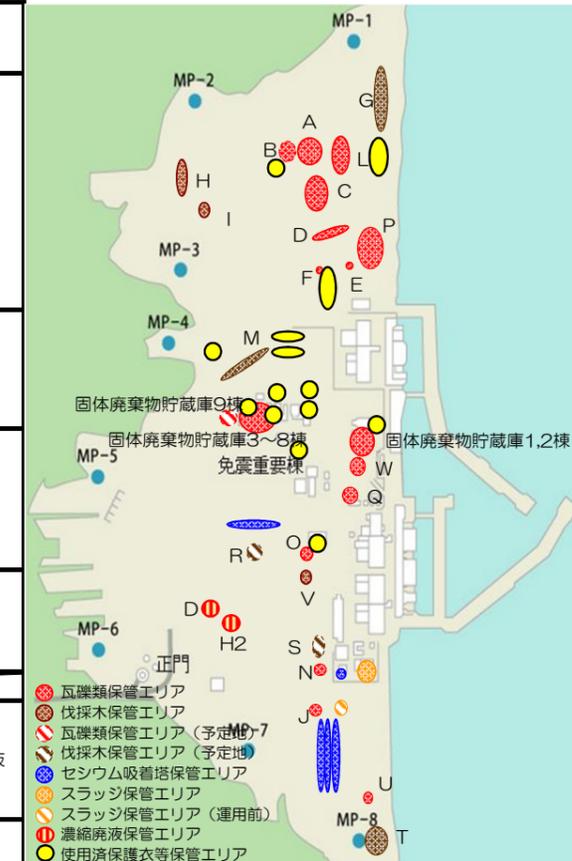


放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	12月		1月			2月		3月	4月	備考			
				18	25	1	8	15	22	29	5	下		上	中	下
固体廃棄物の保管管理計画 処分・処分計画	1. 発生量低減 対策の推進	持込抑制策の検討	(実績) ・運用開始準備	検討・設計												
			(予定) ・運用開始準備	現場作業	運用開始準備											
	固体廃棄物貯蔵庫の設置		(実績) ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事 躯体工事	検討・設計										・2015年7月17日：実施計画変更認可申請認可		
			(予定) ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事 躯体工事	現場作業	固体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事 躯体工事（地下2階）											
			現場作業	躯体工事（地下1階）												
	2. 保管適正化 の推進	覆土式一時保管 施設 3,4槽の設置	(実績) ・設置工事（3槽） ・設置工事（4槽）	検討・設計										・2014年8月12日：安全協定に基づく事前了解		
(予定) ・設置工事（3槽） ・設置工事（4槽）			現場作業	設置工事（3槽）												
	一時保管エリア の追設/拡張	(実績) ・伐採木一時保管槽の追設・拡張に向けた準備	検討・設計	伐採木一時保管槽の追設・拡張に向けた準備										・2015年11月13日：使用前検査（3槽）		
		(予定) ・伐採木一時保管槽の追設・拡張に向けた準備	現場作業	設置工事（4槽）										・4槽のガレキの受入れ時期が、来年度4月見込みとなったため一時施工中断。再開時期は2017年3月予定		
	雑固体廃棄物焼却設備	(実績) ・処理運転（A・B系） ・停止（A・B系）	現場作業	【A系】 処理運転 停止（ばい煙測定） 停止（年末年始）										・【A系】 2017年2月11日：定期点検停止		
		(予定) ・処理運転（A・B系） ・停止（A・B系）	現場作業	【B系】 処理運転 停止（ばい煙測定） 停止（年末年始）										・【B系】 2017年2月12日：定期点検停止		
		増設雑固体廃棄物焼却設備	検討・設計	新規追加										調整中	建築確認申請・審査	・2020年度上期：竣工予定 ・2017年3月上旬：実施計画申請予定

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2016.12.31 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量 ^{※1}	前回報告比 ^{※2} (2016.11.30)	変動 ^{※3} 理由	エリア 占有率	保管量/保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.02	2,800 m ³	0 m ³	—	85 %	137800 / 181200 (76%)	<ul style="list-style-type: none"> ・フランジタンク解体片 エリアPにて一時保管中。(2015年6月15日～) 2016年12月末時点で339基(コンテナ)保管。 ・エリアCの焼却可燃物 リスク低減の観点から容器収納しエリアPにて一時保管中。
	C	屋外集積	0.01未満	52,300 m ³	+2,400 m ³	①②	83 %		
	F	屋外集積	0.01未満	5,700 m ³	-200 m ³	③	76 %		
	J	屋外集積	0.01	4,300 m ³	0 m ³	—	89 %		
	N	屋外集積	0.01未満	4,500 m ³	0 m ³	—	45 %		
	O	屋外集積	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—	95 %		
	P	屋外集積	0.01	41,300 m ³	+200 m ³	①④	65 %		
瓦礫類 シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01	2,600 m ³	0 m ³	—	88 %	32600 / 57300 (57%)	
	E	シート養生	0.03	11,300 m ³	+400 m ³	③⑤⑥	70 %		
	P	シート養生	0.02	5,900 m ³	-200 m ³	⑦	66 %		
	W	シート養生	0.05	12,800 m ³	微増 m ³	—	44 %		
瓦礫類 覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100 %	20300 / 27700 (73%)	<ul style="list-style-type: none"> ・覆土式一時保管施設(第3種) 瓦礫類収納完了:2015年8月21日 仮覆土 :2015年10月26日完了
	A	仮設保管設備	0.30	1,700 m ³	微増 m ³	—	24 %		
	E	容器 ^{※4}	0.02	300 m ³	0 m ³	—	19 %		
	F	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99 %		
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.01	7,800 m ³	+100 m ³	⑤	65 %	7800 / 12000 (65%)	<ul style="list-style-type: none"> ・主な瓦礫類は、1～3号機建屋で発生した高線量瓦礫類。
	合計(ガレキ)			198,600 m ³	+2,700 m ³	—	71 %		
	伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	H	屋外集積	0.01未満	14,700 m ³	0 m ³	—	74 %	63300 / 81500 (78%)
I		屋外集積	0.01	3,600 m ³	-6,000 m ³	⑧	34 %		
M		屋外集積	0.01未満	39,500 m ³	0 m ³	—	88 %		
V		屋外集積	0.01	5,500 m ³	0 m ³	—	92 %		
G		伐採木一時保管槽	0.01未満	8,500 m ³	0 m ³	—	65 %		
伐採木 一時保管槽 (枝・葉)	T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94 %	19600 / 24900 (79%)	
	合計(伐採木)			82,900 m ³	-6,000 m ³	—	78 %		
保護衣 屋外集積	容器	0.04	67,000 m ³	-2,100 m ³	⑨⑩	94 %	67000 / 71200 (94%)	<ul style="list-style-type: none"> ・雑固体焼却設備の運用開始(2016年3月18日) ・使用済保護衣等焼却量 1147t(2016年12月末累積) ・焼却灰のドラム缶数 144本(2016年12月末累積) 	
合計(使用済保護衣等)			67,000 m ³	-2,100 m ³	—	94 %			

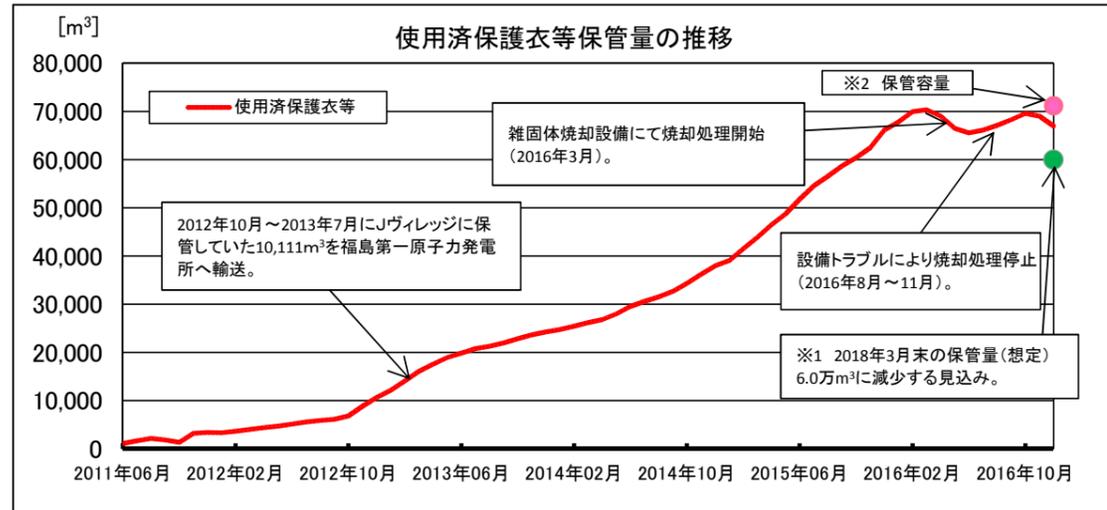
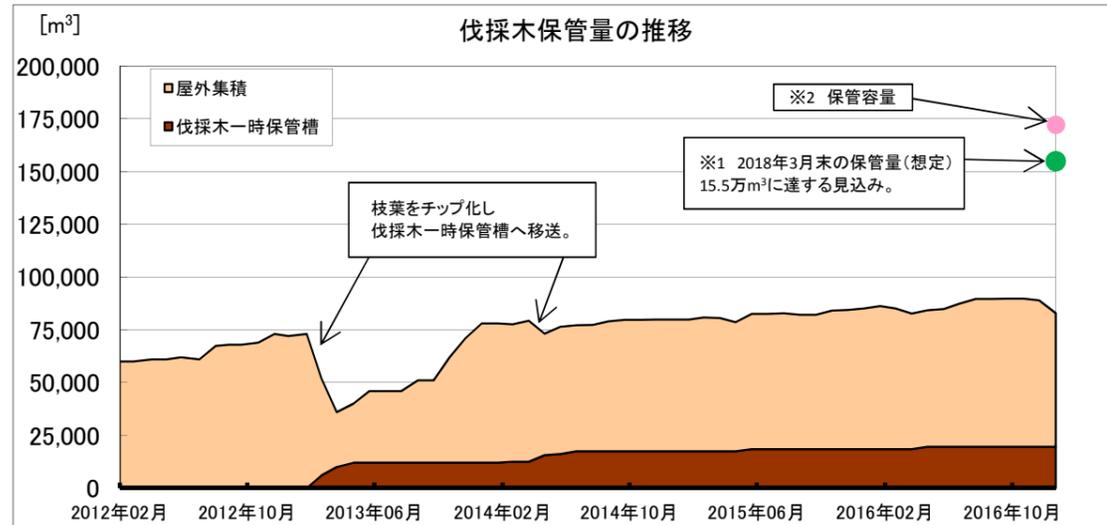
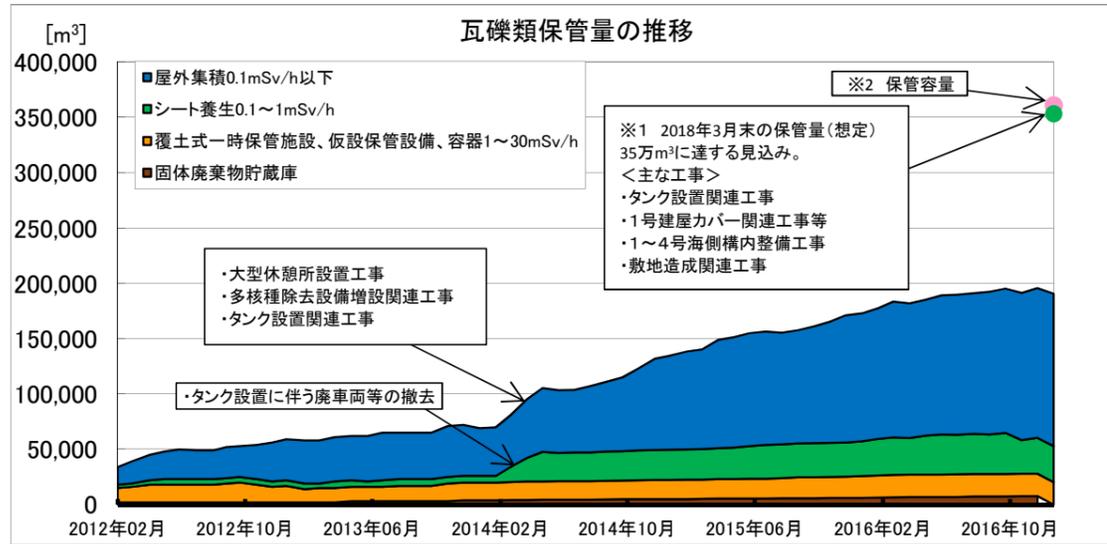


※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※3 主な変動理由: ①タンク設置関連工事 ②フェーシング工事 ③エリア整理 ④焼却対象物の受入 ⑤1～4号建屋周辺瓦礫撤去関連工事
 ⑥一時保管エリアPから瓦礫受入 ⑦瓦礫を一時保管エリアEへ移動 ⑧敷地造成関連工事 ⑨焼却処理 ⑩使用済保護衣等の受入
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2017.1.19時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2016.12.15)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	758 本	0 本	3478 / 6239 (56%)	<ul style="list-style-type: none"> ・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) 	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	180 本	0 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,289 基			+26 基
			増設	980 基			+28 基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	73 本			0 本
		多核種除去設備処理カラム	既設	9 塔			0 塔
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		189 本	+1 本				
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	<ul style="list-style-type: none"> ・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。 		
濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,240 m ³	-4 m ³	9240 / 10700 (86%)	<ul style="list-style-type: none"> ・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量: 9140[m³] ・タンク底部～水位計の保管量(DS): 約100[m³] ・今月より保管量にDSを加算(前回報告比は前回分にもDSを加算して算出) 		

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量推移(2016.12.31時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2016年11月14日申請中)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、実施計画(2016年11月14日申請中)の保管容量の運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物・濃縮廃液の保管量推移(2017.1.19時点)

